

学校経営方針 (目指す子供像を実現するために)

「向上心」とその基盤となる「自己肯定感」を育む

向上心：よりよい自分、よりよい学級、よりよい学校を目指す気持ち
向上心が表れる姿＝「一人一人が輝く」
「自己の成長を目指し、生き生きと活動する姿」

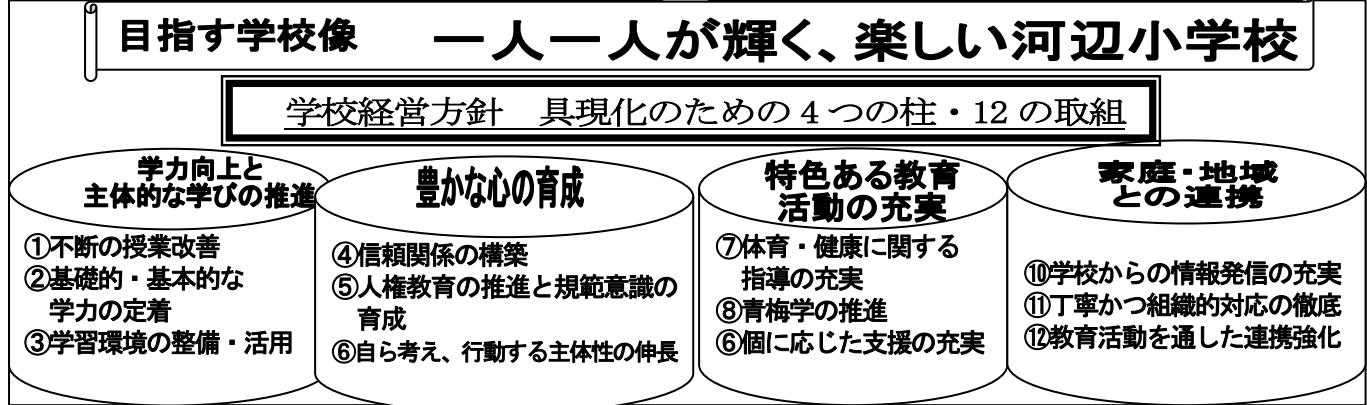
- ・児童一人一人が「今の自分よりも一歩でも前進し「よりよい自分」「よりよい学級」を目指して、学習や生活に取り組む。
- ・全教職員が、現在よりもさらに「よりよい学校」「よりよい授業」を目指して教育活動改善や授業力向上に努める。
- ・児童や教職員が向上しようとする姿で、保護者や地域の信頼を得る。

自己肯定感：「ありのまま」の自分を認め、自分に自信をもつ気持ち
自己肯定感を高められる学校＝「楽しい学校」
「ありのまま」を受け入れ、認め励まし、成長を支える環境」

- ・全教職員が、一人一人の児童の「ありのまま」を受け入れ、認め励まし、成長を支援する。
＝「ほめて伸ばす」
- ・教職員一人一人が、自身の力を十分に発揮し、自信をもって教育活動に取り組める環境をつくる。
- ・保護者や地域に教育活動の意義を発信し、理解や協力を得る。

「どうせ、自分なんて…」
「やってもできない…」
「自信がない…」
「失敗したらどうしよう」

「やればできる」
「自分には価値がある」
「挑戦してみよう！」
「失敗してもまた頑張ればいい」



【重点とする活動】

<p>【学力向上と主体的な学び】 ～各教科の「見方・考え方」にふれる楽しい授業～</p> <p>① 不断の授業改善 ○河辺小授業スタイルの推進（問題解決型授業により、学ぶ楽しさや達成感を味わわせる） ○一単位授業の質的向上（ねらい、指導計画、指導の工夫の3つの要素をより明確にした授業を目指す）</p> <p>② 基礎的・基本的な学力の定着 ○学習規律の徹底（話し方「はい・立つ・～です」や聞き方「背・目・手」など） ○河辺ドリル、補充的な取組の充実（ステップアップクラスなど） ○家庭学習の習慣化（宿題の定例化、家庭学習強化週間、NOテレビ・動画・ゲームディの設定 等）</p> <p>③ 学習環境の整備・活用 ○ICTの活用 「1日1活動」 ○学習環境整備（人的環境の効果的活用等）</p> <p style="text-align: right;">等々</p>	<p>【豊かな心の育成】 ～自他尊重の精神の育成～</p> <p>④ 信頼関係の構築 ○学級・学年経営の充実（子供と教師、子供同士の人間関係を深める） ○学級経営を基本としつつ「全職員で全児童を育てる」 ○「特別の教科 道徳」の授業の充実</p> <p>⑤ 人権教育の推進と規範意識の推進 ○「ハートフル河辺プラン」＝「自他尊重の精神」を学ぶ人権教育 キャッチフレーズ「自分大好き・友達大好き・学校大好き・河辺小の子」 ○規範意識を学ぶ生活指導の充実（いじめの未然防止・早期発見・早期対応 等） ○「河辺しぐさ」の徹底（元気にあいさつ・はきはき返事・目で聞き、心で聞く・もくもく清掃・靴そろえ・ちょボラ・いつでもありがとう）</p> <p>⑥ 自ら考え、行動する主体性の伸長（児童会活動、学級活動、縦割り班活動、クラブ活動 等）</p> <p style="text-align: right;">等々</p>
<p>【特色ある教育活動の充実】 ～特色ある教育活動の持続可能な取組への深化～</p> <p>⑦ 体育・健康に関する指導の充実 ○体育科授業、体育的活動の充実（運動の特性にふれる楽しさを味わう）なわとびの取組、マラソン大会 等 ○オリパラスポーツ教室の継続（運動に親しむ態度や目標にむかって努力する生き方を体感させる）</p> <p>⑧ 青梅学の推進 ○青梅の自然・歴史・地域・文化・施設を学ぶ活動（体験的学習、宿泊行事の実施） ○「愛鳥モデル校」の活動（愛鳥博士テスト 等） ○動物飼育推進校としての活動 等</p> <p>⑨ 個に応じた支援の充実（ ○「ことばときこえの教室」の教員の学級担任等への支援、「くわのき」担当教員との連携 ○コーディネーターを核とした組織的対応</p> <p style="text-align: right;">等々</p>	<p>【家庭・地域との連携】 ～適切な情報発信と対応による家庭・地域との信頼関係の構築～</p> <p>⑩ 学校からの情報発信の充実 ○適時的・適切な家庭・保護者への情報発信（各種便り・ホームページの整備・充実、学校メール配信 等）</p> <p>⑪ 丁寧かつ組織的対応の徹底 ○丁寧な連絡、相談（保護者と相互に報告・連絡・相談する関係づくり）</p> <p>⑫ 教育活動を通じた連携強化 ○学校行事の充実と公開 ○学校公開や保護者会の工夫 ○各種のアンケートの教育活動改善への活用</p> <p style="text-align: right;">等々</p>

新型コロナウイルス感染症対策

基本方針：「3つの健康を守る」

身体の健康：感染予防対策（毎日の健康観察、手洗いの励行、「3密」や「飛沫」を避ける 等）

心の健康：不安や負担の軽減（児童の不安への心のケア、無理のない教育計画）

社会的な健康：社会的活動の中での成長の機会の確保、差別・偏見を許さない指導

「With コロナ」に合わせた「現時点の最善手は何か」を常に検討・実践

「全校児童を全教職員で育てる」

【保護者の皆様へのお願い】

○「心身ともにベストコンディションで登校を」

学校の教育活動は「午前中」に多くあります。「朝から元気！」が、学習効果の向上にも、精神面や友達関係の安定にも大切です。

特に「十分な睡眠」と「朝ごはん」をとらせての登校にご協力ください。

○「困ったこと」「疑問に思ったこと」「悩んだ時」は、気軽にご相談ください

お子さんのこと（出来事や成長の仕方、お子さんの様子等）で、困ったり悩んだり等があった時には、まず担任にご相談ください。（相談しづらい時には、教科担当、養護教諭、コーディネーター、学校スタッフ、管理職 等々誰でも大丈夫です。いずれにしても組織的に対応する体制づくりに努めています。）

「チーム河辺小」で、子供の成長のために力を尽くしてまいります！